

第61回日本薬理学会北部会 プログラム・抄録集

主催 社団法人 日本薬理学会

部会長 東城 庸介
北海道医療大学歯学部口腔生物学系薬理学分野



第61回日本薬理学会北部会



2010年9月10日 札幌コンベンションセンター

実行委員：

平藤 雅彦：北海道医療大学薬学部 薬理学講座（薬理学）教授
島村 佳一：北海道医療大学薬学部 薬理学講座（臨床薬理毒理学）教授
富樫 廣子：北海道医療大学薬学部 薬理学講座（病態生理学）教授
遠藤 泰：北海道医療大学個性差医療科学センター 教授

谷村 明彦：北海道医療大学歯学部 口腔生物学系薬理学分野 准教授
森田 貴雄：同 講師
根津 顕弘：同 講師

学会事務局連絡先：

〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1 7 5 7
北海道医療大学歯学部口腔生物学系薬理学分野
第61回日本薬理学会北部会事務局（担当：谷村明彦）
TEL：0133-23-2431
FAX：0133-23-1399
E-mail：hokubu61@hoku-iryo-u.ac.jp
学会HPアドレス：<http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/~d-yakuri/home/hokubu61.html>

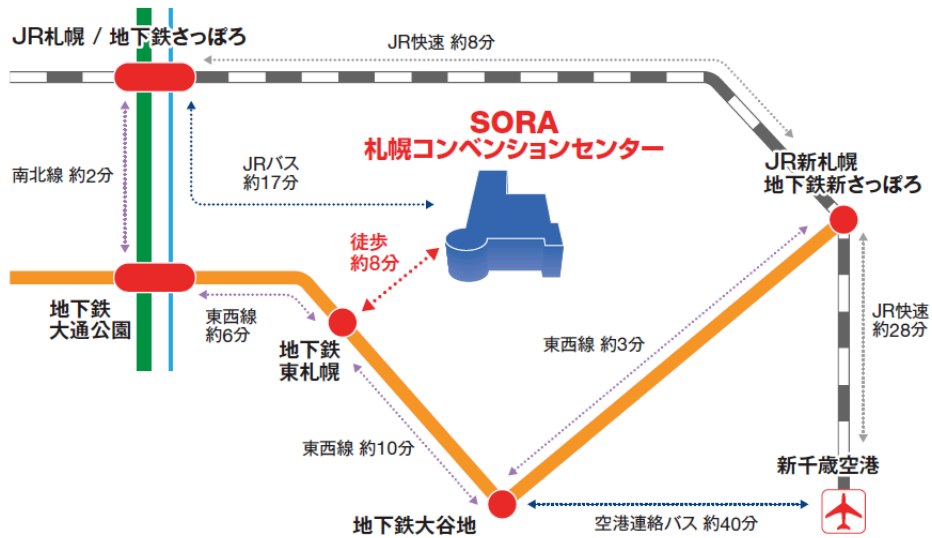
会場アクセスマップ

会場：札幌コンベンションセンター

〒003-0006 札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1 (TEL: 011-817-1010)

札幌コンベンションセンターは地下鉄東西線大通駅から3駅目の東札幌駅下車、徒歩約8分です。また札幌中心部（大通り周辺）からタクシーで10分程度です。

<空港および近隣からの札幌コンベンションセンターまで>



<地下鉄東札幌駅から札幌コンベンションセンターまで>



昼食のご案内

札幌コンベンションセンター内のレストラン、または近隣のショッピングセンター（イーアス札幌：前ページ下段黒枠）にいろいろなタイプのレストランがあります。そちらをご利用下さい。

懇親会会場アクセスマップ

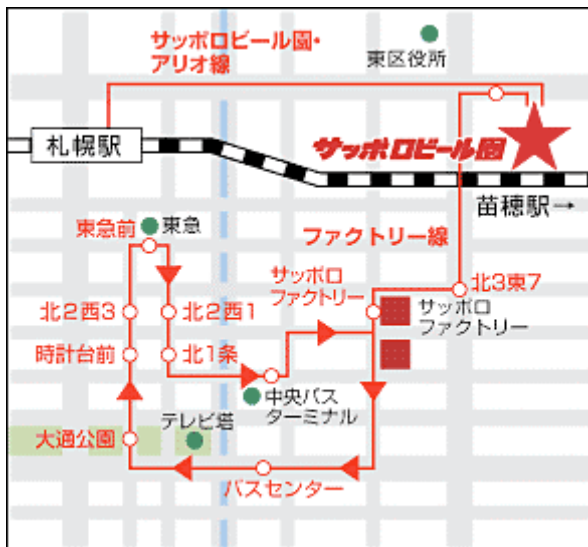
懇親会： サッポロビール園スターホール 18：30より

〒065-0007 札幌市東区北7条東9丁目2-10

Tel. 0120-150-550（サッポロビール園予約センター）

（北部会終了後、会場までの送迎バスをご用意いたしますので是非ご利用下さい。）

#当日参加も受け付けております。受付にてお申し込み下さい。



北海道の味覚とできたて直送生ビールをお楽しみください。

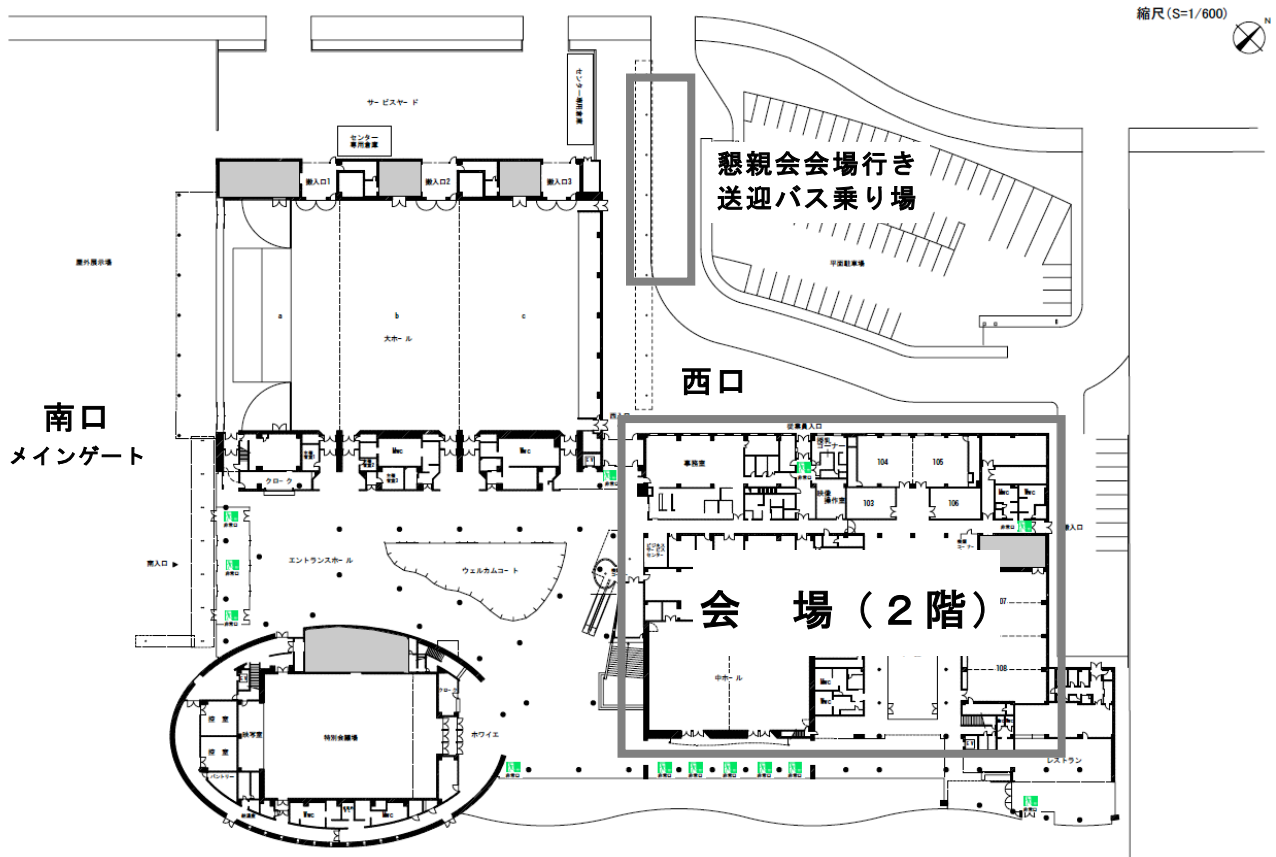
【メニュー】

本タラバガニ
ズワイガニ
旬魚お刺身
肉料理
名物ジャンジャン焼き

etc...

会場案内図

北部会会場は、札幌コンベンションセンター2階になります。



口演会場の詳細な案内は次のページをご覧ください。

懇親会会場行き送迎バス乗り場

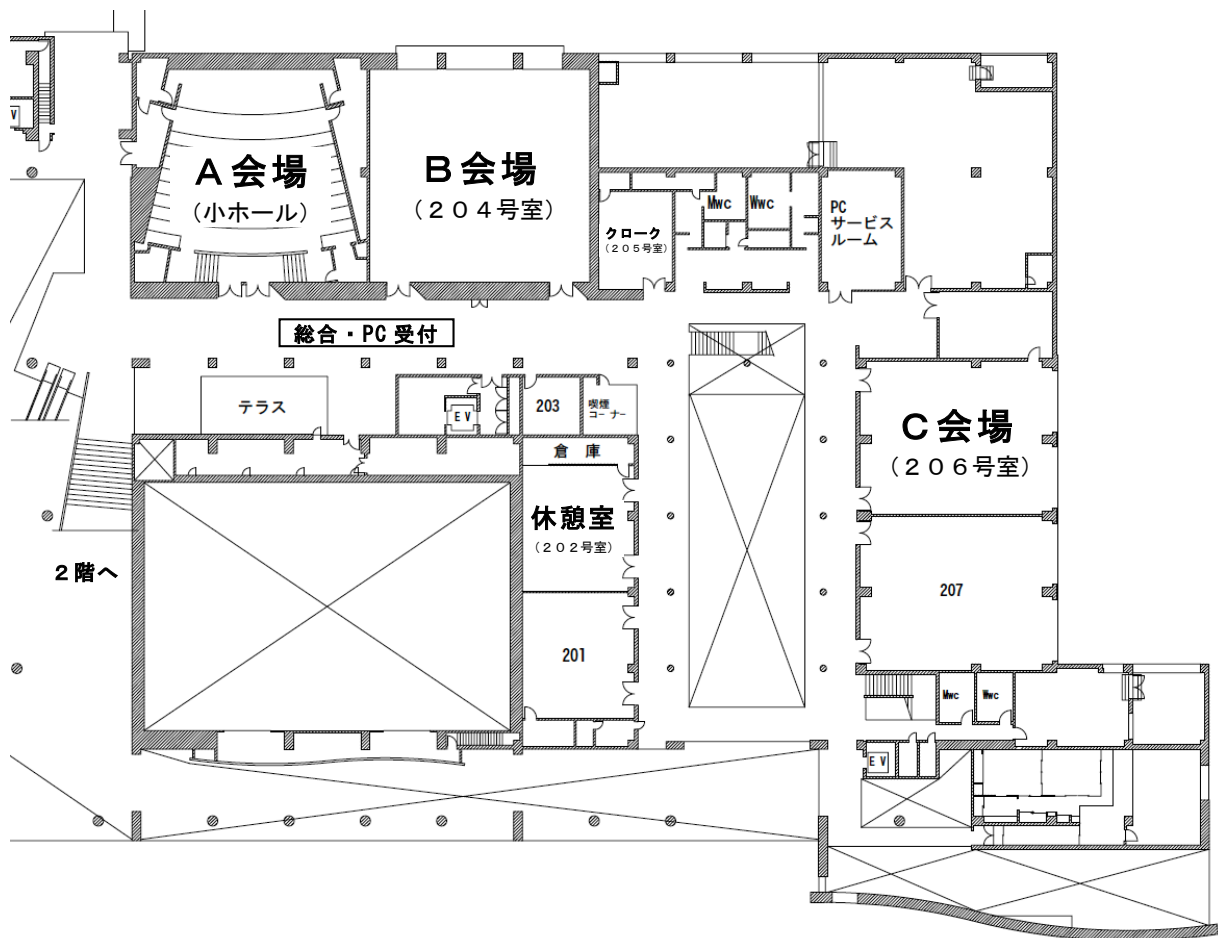
懇親会会場への送迎バスは西口を出て上記のバス乗り場からご利用下さい。

送迎バスは17:40頃よりご案内させていただく予定です。

口演会場案内

A会場： 小ホール
B会場： 204号室
C会場： 206号室
休憩室： 202号室
クローク： 205号室
総合受付およびPC受付： A会場前になります。

札幌コンベンションセンター2階見取り図



各会場は飲食禁止ならびに禁煙です。

休憩室（202号室）を設けております。ドリンクを用意しておりますのでご利用下さい。喫煙はB会場向かいの喫煙コーナーにてお願いいたします。

参加者へのご案内

会場：札幌コンベンションセンター（〒003-0006 札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1）

A会場：小ホール

B会場：204号室

C会場：206号室

日時：平成22年9月10日（金）9時25分より開始

受付：①8時50分から受付を開始いたします。会場では参加章をご着用下さい。

②当日参加の方は、総合受付にて参加費をお支払いの上、プログラム・抄録集および参加章をお受け取り下さい。

学術評議員 6,000 円（昼食代含む）

一般会員 5,000 円

非会員 6,000 円

大学院生 2,000 円

学部学生 無料（学生証を提示の上、抄録集、参加章をお受け取り下さい。）

懇親会：サッポロビール園スターホール

一般 6,000 円

学生 5,000 円

*当日参加も受け付けております。受付にてお申し込み下さい。

9月10日（金）18時30分よりサッポロビール園スターホールにて行います。すべての口演終了後、学会会場から懇親会会場までの送迎バスを用意いたしますのでご利用下さい。送迎バス乗り場は会場案内をご覧ください。

学術評議員会：9月10日（金）12時15分から13時45分までB会場（204号室）で行います。12時頃の開場を予定しています。

B会場入り口の受付にて、ご出席を確認後、学術評議員会資料と昼食をお受け取り下さい。

休憩：202号室に休憩室を設けています。休憩室には飲み物をご用意していますのでご利用下さい。喫煙はB会場向かいの喫煙コーナーにてお願いいたします。

写真撮影、ビデオ撮影および録音：会場内での撮影および各種録音機器による録音は固くお断りします。尚、開催記録のためスタッフが会場内の様子を撮影する場合がございますので、ご了承下さい。

駐車場（有料）：札幌コンベンションセンターもしくは近隣のショッピングセンター（イーアス札幌）の駐車場をご利用下さい。

薬剤師研修センター認定：本学会は（財）日本薬剤師会研修センター認定学会です。ご希望の方には受講認定シールを総合受付にてお渡しいたします。

無線LAN：会場内でWi-fiによる無線LANが使用できます。アクセスポイントの詳細は当日会場にてご確認ください。

発表者へのご案内

一般口演：PCと液晶プロジェクターを用いた発表に限ります。口演発表10分、討論4分です。発表の15分前までに次演者席にご着席下さい。

日本薬理学会雑誌掲載用抄録：ご提出いただいた抄録に変更がある場合は、変更した抄録を受付にお渡し下さい。お申し出の無い場合、プログラム・抄録集に掲載のものを使用いたします。

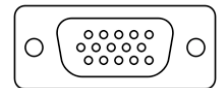
発表データの受付：PC受付にて発表の30分前までに受付を済ませ、データをご確認下さい。データファイルは、原則としてCD-R（CD-RWは不可）、またはUSBメモリでご持参下さい（トラブルを避けるため、USBメモリは事前にウイルスチェックをお願いいたします）。PC持ち込みの場合も必ずバックアップ用ファイルをご登録下さい。

お預かりしたデータは、学会終了後、北部会事務局が責任を持って消去いたします。PC持ち込みの方も必ず受付をし、外部出力が適切であることをご確認ください。

発表方法：演台上のマウスを操作して発表を行って下さい。登壇時に発表の最初の画面をスクリーンに立ち上げた状態にしますので、ご自身で操作をお願いします。演台上にモニタはありません。また持ち込みPCを演台に乗せることはできませんのであらかじめご了承ください。

口演発表用コンピュータについて：各会場に、Windows XP、PowerPoint 2007をインストールした発表用コンピュータを用意いたします。Windows Vista、Windows 7、Macによる発表をご希望の方は、ご自身のコンピュータをご持参下さい。動画を用いたご発表の場合も、ご自身のコンピュータをご使用下さい。

PC持ち込みの場合：プロジェクターとのコネクタの形状は**ミニ D-Sub15ピン端子**に限ります（右図参照）。機種に依存した画像出力端子とACアダプタはご自身でご用意下さい。またご口演の前にPCの外部出力が適切であるかどうかをご確認下さい。



ミニ D-Sub15 ピン端子

発表データファイルおよびファイル作成について：ファイル名は、「**演題番号 発表者氏名**」（例：A-01 根津顕弘）として下さい。コンピュータ持ち込みの場合は、デスクトップ上にファイルを保存して下さい。

発表用データは、以下の条件でのファイル作成をお薦めします。

使用OS：	Windows 2000以降、XPまで
ソフトウェア：	Windows版PowerPoint 2000以降、2007まで
日本語フォント：	MSゴシック、MS Pゴシック、MS明朝、MS P明朝
英語フォント：	Times New Roman、Arial、Arial Black、Arial Narrow、Century、Century Gothic、Courier New、Georgia

各セッションの座長の先生へお願い

担当セッションの開始30分前までに受付を済ませ、次座長席にご着席下さい。各演者の口演発表10分、討論4分といたします。活発な討論となりますようご配慮いただきますと共に、時間厳守をお願いいたします。

プログラム・座長一覧

	A 会場 (小ホール)	B 会場 (2 0 4 号室)	C 会場 (2 0 6 号室)
08:50	開場・受付開始		
09:25	開会の辞 部会長：東城庸介		
09:30～10:12	A-01～03 丹野 孝一 東北薬科大・薬理	B-01～03 飯塚 健治 北海道医療大・薬・薬理	C-01～03 蔦川 修生 山形大・医・薬理
10:12～10:25	休 憩		
10:25～11:07	A-04～06 村瀬 真一 新潟大院・医歯（医）・薬理	B-04～06 山脇 英之 北里大・獣医・獣医薬理	C-04～06 守屋 孝洋 東北大院・薬・細胞情報
11:07～11:20	休 憩		
11:20～12:02	A-07～09 山口 拓 北海道大院・医・神経薬理	B-07, 08 久場 敬司 秋田大院・医・情報制御・実験治療	C-07～09 出山 義昭 北海道大院・歯・細胞分子薬理
12:15～13:45	昼 食	12:15～13:45 学術評議員会	昼 食
13:45～14:41	A-10～13 安東 嗣修 富山大院・医薬（薬）・応用薬理	B-09～12 古川 賢一 弘前大院・医・病態薬理	C-10～13 助川 淳 東北大院・医・分子薬理
14:41～14:55	休 憩		
14:55～15:37	A-14～16 東田 道久 富山大院・和漢医薬研・複合薬物薬理	B-13～15 色摩 弥生 福島医大・医・薬理	C-14～16 山國 徹 東北大院・薬・薬物療法
15:37～15:50	休 憩		
15:50～16:32	A-17～19 森口 茂樹 東北大院・薬・薬理	B-16～18 結城 幸一 旭川医大・医・薬理	C-17～19 横尾 宏毅 富山大院・医薬(医)・分子医科薬理
16:32～16:45	休 憩		
16:45～17:27	A-20～22 松本真知子 北海道医療大・薬・病態生理	B-19, 20 乙黒 兼一 北海道大院・獣医・薬理	C-20, 21 大橋 敦子 北海道医療大・薬・臨床薬理毒理
17:30	閉会の辞		
17:40	送迎バス移動開始		
18:30	懇親会（サッポロビール園）		

プログラム・一般演題一覧

開会の辞 (09:25) A会場
部会長：東城 庸介

A会場：小ホール
座長：丹野 孝一
東北薬科大・薬理
09:30～10:12

B会場：204号室
座長：飯塚 健治
北海道医療大・薬・薬理
09:30～10:12

C会場：206号室
座長：葛川 修生
山形大・医・薬理
09:30～10:12

09:30 敗血症マウスモデル脳組織における
(A-01) 脳血液関門透過性亢進に伴う神経細胞変性
1 ○横尾宏毅¹、山本誠士¹、高野健一¹、
富田賢悟¹、千葉政一²、山崎弘美¹、
高階道徳¹、松田直之³、服部裕一¹
(¹富山大院・医薬(医)・分子医科薬理、²大分大・医・内科1、³名古屋大
院・医・救急集中治療医学)

09:30 フルバスタチンによるラット骨格
(B-01) 筋ミトコンドリア膜電位の低下
23 ○坂本多穂¹、山本雅哉²、水野杏奈¹、
田中祥子¹、和栗 聡²、木村純子¹
(¹福島医大・医・薬理、²福島医大・
医・解剖組織)

09:30 A₁アデノシン受容体とP2Y₂受容体の
(C-01) ヘテロダイマー形成インターフェイ
43 スの探索
○水野夏実¹、鈴木登紀子¹、中田裕
康²、中畑則道¹
(¹東北大院・薬・細胞情報、²都・神
経研)

09:44 神経細胞傷害によるグリア細胞活性
(A-02) 化におけるHMGB1の役割
2 ○田中浩貴、片山貴博、小松陽介、
矢野利幸、南 雅文
(北海道大院・薬・薬理)

09:44 レスベラトロール配糖体の酸化ス
(B-02) トレス抑制作用
24 ○細田隆介¹、堀 佑輔¹、久野篤史¹、
濱田博喜²、堀尾嘉幸¹
(¹札幌医大・医・薬理、²岡山理科
大・理・食品予防医学)

09:44 神経系細胞におけるGPR55のシグナ
(C-02) ル伝達とその生理的な役割について
44 ○小原祐太郎、上野沙奈恵、中畑則
道
(東北大院・薬・細胞情報)

09:58 拡散性スクレオシドトランスポータ
(A-03) ー1 (ENT1) を介したアデノシン取
3 込みによる海馬ニューロン新生調節
機構
○守屋孝洋、針生 彩、鈴木悠子、
桂 崇之、中畑則道
(東北大院・薬・細胞情報)

09:58 蛋白アセチル化酵素Sirt1による心
(B-03) 肥大抑制におけるp300発現制御の
25 役割
○久野篤史¹、三浦哲嗣²、島本和明²、
堀尾嘉幸¹
(¹札幌医大・医・薬理、²札幌医大・
医・内科学第2)

09:58 DRiP78 interacts with the
(C-03) carboxy-terminus of histamine H3
45 receptor and decreases the
expression of the receptor
○邵 和^{1,2}、木下和樹¹、佐藤岳哉¹、
前田 恵¹、原口満也¹、谷内一彦²、
柳澤輝行¹、助川 淳¹
(¹東北大院・医・分子薬理、²東北大
院・医・機能薬理)

休憩 (10:12～10:25)

A会場：小ホール
座長：村瀬 真一
新潟大院・歯学総合・(医) 薬理
10:25～11:07

B会場：204号室
座長：山脇 英之
北里大・獣医・獣医薬理
10:25～11:07

C会場：206号室
座長：守屋 孝洋
東北大院・薬・細胞情報
10:25～11:07

10:25 ラット大脳皮質初代培養細胞の培養
(A-04) 日数に伴う各種mRNA発現量変化と
4 それへの5-HT₂CR RNA editingの影響
○東田道久、松本欣三
(富山大・和漢医薬学研・複合薬物
薬理)

10:25 ラット初期胚における心拍動開始
(B-04) に関わるイオンチャネルの発現
26 ○前田佐知子、小林武志、一瀬信敏、
佐藤達也、岩瀬岳人、當瀬規嗣
(札幌医大・医・細胞生理)

10:25 新規細胞死関連蛋白質Amidaの機能
(C-04) 解析
46 ○入江康至¹、佐伯万騎男²、近藤ゆき
子¹、大竹伸平¹、水間謙三¹、上崎善
規²、平 英一¹
(¹岩手医大・医・薬理、²大阪大院・
歯・薬理)

10:39 縫線核5-HT/GAD67共発現ニューロ
(A-05) ンの細胞学的特性
5 ○鹿内浩樹¹、吉田隆行¹、今野幸太
郎²、泉 剛¹、山口 拓¹、吉岡
充弘¹
(¹北海道大院・医・神経薬理、²北
海道大院・医・解剖発生)

10:39 CCR4-NOT複合体の心臓発生/心機
(B-05) 能調節における役割、意義の解析
27 ○鈴木 享、久場敬司、森田正行、
大戸貴代、今井由美子
(秋田大院・医・情報制御・実験治
療)

10:39 抗ガン治療法としてのTmk/AZT系
(C-05) におけるBystander効果発現の分子
47 機構
○佐藤岳哉、鈴木夕起、伊東 萌、
助川 淳、柳澤輝行
(東北大院・医・分子薬理)

10:53 扁桃体および内側前頭前野5-HT神
(A-06) 経終末破壊が不安行動に及ぼす効果
6 ○泉 剛、大村 優、二見ゆきの、
山口 拓、吉田隆行、吉岡充弘
(北海道大院・医・神経薬理)

10:53 ニコランジルの慢性投与は、Gq-蛋
(B-06) 白遺伝子改変マウスにおいて心不
28 全誘発心室性不整脈の発生を抑制
する。
○弘瀬雅教¹、斉藤麻希¹、田辺由幸¹、
中山貢一¹、山田光彦²
(¹岩手医大・薬・分子細胞薬理、
²信州大・医・分子薬理)

10:53 唾液腺への非侵襲的アデノウイルス
(C-06) 注入による Stim1 の in vivo 発現と
48 機能解析
○森田貴雄¹、谷村明彦¹、設楽彰子²、
鈴木裕子³、根津顕弘¹、田隈泰信²、
東城庸介¹
(¹北海道医療大・歯・薬理、²北海道
医療大・歯・生化、³北海道医療大・
歯・組織)

休憩 (11:07~11:20)

A会場：小ホール

座長：山口 拓

北海道大院・医・神経薬理
11:20~12:02

B会場：204号室

座長：久場 敬司

秋田大院・医・情報制御・実験治療
11:20~11:48

C会場：206号室

座長：出山 義昭

北海道大院・歯・細胞分子薬理
11:20~12:02

11:20 視床下部弓状核および室傍核での
(A-07) NPY Y₂受容体の摂食行動への関与
7 の検討
○椎谷友博、村瀬真一、樋口宗史
(新潟大院・医歯学総合(医)・薬理)

11:20 敗血症マウスにおける心臓及び肺
(B-07) でのリモデリング関連分子の遺伝
29 子発現の検討
○富田賢吾¹、高野健一¹、山本誠士¹、
横尾宏毅¹、松田直之²、服部裕一¹
(¹富山大院・医薬(医)・分子医科薬
理、²名古屋大院・医・救急・集中治
療医学)

11:20 ラット唾液腺における内因性ベンゾ
(C-07) ジアゼピン受容体リガンド (DBI)
49 の共役機構
○塚越絵里¹、四宮敬史¹、吉川正信^{1,2}、
大久保みぎわ¹、澤木康平¹、川口
充¹
(¹東歯大・歯・薬理、²東海大・医・
臨床薬理)

11:34 レセルピン投与マウスの血管運動中
(A-08) 枢におけるニューロペプチドY受容
8 体の発現変化
○村瀬真一、樋口宗史
(新潟大院・医歯学総合(医)・薬理)

11:34 敗血症モルモット心房筋のイオン
(B-08) チャネル変化
30 ○畠山 登¹、青木優太¹、山本誠士²、
山崎光章¹、服部裕一²
(¹富山大・麻酔科学、²富山大院・
医薬(医)・分子医科薬理)

11:34 高血糖時の唾液腺におけるBMP7と
(C-08) gremlinの発現動態と相互作用
50 ○四宮敬史¹、吉川正信^{1,2}、塚越絵
里¹、大久保みぎわ¹、澤木康平¹、川
口 充¹
(¹東歯大・歯・薬理、²東海大・医・
臨床薬理)

11:48 新規のサブタイプ特異的GABAトラ
(A-09) ンスポーター阻害薬の創製
9 ○吉河真美絵¹、田中浩貴¹、松川
遥¹、早川 航¹、柴野さや子¹、中田
和彰²、井手聡一郎¹、片山貴博¹、有
澤光弘²、周東 智²、南 雅文¹
(¹北海道大院・薬・薬理、²北海道大
院・薬・創薬有機化学)

11:48 唾液腺におけるCYP11A1の発現と
(C-09) 唾液分泌におよぼす影響
51 ○大久保みぎわ¹、宮下 卓²、四宮敬
史¹、澤木康平¹、中川寛一²、川口
充¹
(¹東歯大・歯・薬理、²東歯大・歯・
歯科保存)

昼食 (12:02~13:45)

学術評議員会

12:15~13:45

(B会場)

A会場：小ホール

座長：安東 嗣修

富山大院・医薬(薬)・応用薬理
13:45~14:41

B会場：204号室

座長：古川 賢一

弘前大院・医・病態薬理
13:45~14:41

C会場：206号室

座長：助川 淳

東北大院・医・分子薬理
13:45~14:41

13:45 AD/HDモデルラットにおける前頭
(A-10) 前皮質の機能障害とそのメカニズム
10 ○前田智美¹、塩田倫史¹、松本真知
子²、平出幸子²、富樫廣子²、福永浩
司¹
(¹東北大院・薬・薬理、²北海道医療
大・薬・病態生理)

13:45 ラット動静脈平滑筋でのY₁受容体
(B-09) の分布とH₁受容体との共存
31 ○合田光寛、村瀬真一、樋口宗史
(新潟大院・医歯学総合(医)・薬
理)

13:45 TRPM5チャネル活性の脂肪酸によ
(C-10) る修飾
52 ○近藤大祐^{1,2}、吉田卓史¹、菊池 尚¹、
小松正志²、若森 実¹
(¹東北大院・歯・歯科薬理、²東北大
院・歯・歯科保存)

- 13:59 新生仔期腹側海馬損傷ラットの前頭
(A-11) 前皮質における興奮性神経伝達機能
11 低下と統合失調症様行動評価
○矢吹 悌¹、森口茂樹¹、中川西修²、
小野木弘志²、只野 武²、福永浩司¹
(¹東北大院・薬・薬理、²東北薬科大・
薬・薬理)
- 14:13 Na⁺/Ca²⁺交換体 (NCX) 欠損マウス
(A-12) におけるカルシウム/カルモデュリン
12 依存性プロテインキナーゼIIの機能
低下と認知機能障害
○森口茂樹¹、喜多紗斗美²、岩本隆
宏²、福永浩司¹
(¹東北大院・薬・薬理、²福岡大・医・
薬理)
- 14:27 2型糖尿病モデルマウスの認知・情動
(A-13) 行動障害に対する漢方薬釣藤散の改
13 善効果
○趙 琦¹、松本欣三¹、横澤隆子²、
宮田 健^{1,4}、常山幸一³
(¹富山大・和漢医薬学研、²地域連携
推進機構、³富山大院・医薬(医)、⁴崇
城大学・薬)
- 13:59 新規アディポカインomentinの血管
(B-10) 系に対する作用
32 ○山脇英之、蔵本惇嗣、椿 直哉、
岡田宗善、原 幸男
(北里大・獣医・獣医薬理)
- 14:13 Endothelial microparticles (EMP)
(B-11) のin vitro産生系の確立およびin
33 vivo病態モデルでの解析
○山本誠士¹、東英梨月^{1,2}、村松
昌³、宮崎賢治¹、佐竹美芽¹、堂本光
子²、柳橋 努⁴、生谷尚士⁴、長井良
憲⁴、高津聖志⁴、新飯田俊平³、服部
裕一¹
(¹富山大院・医薬(医)・分子医科
薬理、²金沢工大・ゲノム生物工学研、
³国立長寿医療研究センター・遺伝子
蛋白質解析室、⁴富山大院・免疫バイ
オ・創薬探索研)
- 14:13 α_{1A}アドレナリン受容体刺激による
(C-12) KCNQ1インターナリゼーションの
54 メカニズム
○蔦川修生、野呂田郁夫、呉 明華、
石井邦明
(山形大・医・薬理)
- 14:27 Effects of insulin on
(C-13) KCNQ1/KCNE1 channel expressed
55 in *Xenopus* oocytes
○呉 明華、野呂田郁夫、蔦川修生、
石井邦明
(山形大・医・薬理)
- 14:27 遺伝性食後高トリグリセリド血症
(B-12) 家兎における血小板凝集能
34 ○阿部陽平¹、菱沼早織¹、伊藤恒賢²、
片野由美³、石幡 明³
(¹山形大院・医、²山形大・医学部
附属動物実験施設、³山形大院・医・
看護病態機能)

休憩 (14:41~14:55)

A会場：小ホール

座長：東田 道久

富山大院・和漢医薬研・複合薬物薬理

14:55~15:37

B会場：204号室

座長：色摩 弥生

福島医大・医・薬理

14:55~15:37

C会場：206号室

座長：山國 徹

東北大院・薬・薬物療法

14:55~15:37

- 14:55 恐怖記憶制御システムにおける幼若
(A-14) 期ストレスの影響と分子メカニズム
14 ○石川修平¹、柳川芳毅¹、松本真知
子¹、重堂智加¹、木村真一²、島村佳
一²、富樫廣子¹
(¹北海道医療大・薬・病態生理、
²北海道医療大・薬・臨床薬理毒理)
- 14:55 ラット大動脈弁の加齢による石灰
(B-13) 化機構の検討
35 ○瀬谷和彦¹、于 在強^{1,2}、大徳和
之²、明本由衣¹、渋谷浩之¹、福田幾
夫²、奥村 謙³、元村 成¹、古川
賢一¹
(¹弘前大院・医・病態薬理、²弘前
大院・医・胸部心臓血管外科、³弘前
大院・医・循環呼吸腎臓内科)
- 14:55 骨芽細胞様MC3T3-E1細胞における
(C-14) TLR5リガンドによるMCP-1の発現
56 誘導
○中村公也¹、出山義昭²、吉村善隆²、
鈴木邦明²
(¹北海道大学病院・歯科診療センタ
ー・保存系歯科、²北海道大院・歯・
細胞分子薬理)
- 15:09 恐怖記憶消去過程におけるラット海
(A-15) 馬ならびに皮質前頭前野のシナプス
15 応答
○齋藤靖弘¹、松本真知子¹、柳川芳
毅¹、重堂智加¹、平出幸子¹、久保靖
憲¹、石川修平¹、吉岡充弘²、富樫廣
子¹
(¹北海道医療大・薬・病態生理、
²北海道大院・医・神経薬理)
- 15:09 石灰化大動脈弁狭窄症患者から得
(B-14) た大動脈弁間質細胞のTNF-αによ
36 る石灰化促進機構の検討
○于 在強^{1,2}、瀬谷和彦¹、大徳和
之²、元村 成¹、福田幾夫²、古川賢
一¹
(¹弘前大院・医・病態薬理、²弘前
大院・医・胸部心臓血管外科)
- 15:09 歯髄細胞におけるプロスタグランジ
(C-15) ンE₂産生に対するタンニン酸の作用
57 ○中村光一^{1,2}、出山義昭¹、吉村善
隆¹、加我正行²、八若保孝²、鈴木邦
明¹
(¹北海道大院・歯・細胞分子薬理、
²北海道大院・歯・小児・障害歯科)

15:23 パラボリック飛行時の血中ストレス
(A-16) マーカーの変動特性—アルギニンバ
16 ゴプレシンと白血球数を中心に
○吉岡充弘¹、山口 拓¹、行徳純一
郎²、落合俊昌²、太田 尚³
(¹北海道大院・医・神経薬理、²三菱
重工、³佐藤製薬)

15:23 高血圧自然発症ラット大動脈平滑
(B-15) 筋の異所性石灰化において一酸化
37 窒素が果たす役割
○古川賢一・長瀬秀顕・金丸幸太、
瀬谷和彦、元村 成
(弘前大院・医・病態薬理)

15:23 マウス線維芽細胞におけるセラミド
(C-16) 刺激によるNGF産生機構の解明
58 ○小林大策¹、後藤俊宏¹、大久保聡
子²、斎藤将樹³、中畑則道^{1,3}
(¹東北大院・薬・細胞情報、²国立衛
研・薬理、³東北国際高等研究教育
機構)

休憩 (15:37~15:50)

A会場：小ホール

座長：森口 茂樹

東北大院・薬・薬理

15:50~16:32

B会場：204号室

座長：結城 幸一

旭川医大・医・薬理

15:50~16:32

C会場：206号室

座長：横尾 宏毅

富山大院・医薬(医)・分子医科薬理

15:50~16:32

15:50 隔離飼育ストレス負荷マウスの潜在
(A-17) 学習・注意力障害及びADHD病態モ
17 デルとしての可能性
○大内啓史、松本欣三
(富山大・和漢医薬研・複合薬物薬
理)

15:50 皮膚がん誘発痛覚過敏における
(B-16) TRPV1の役割
38 ○安東嗣修¹、藤田真英¹、Hongwei
Zhang¹、済木育夫²、倉石 泰¹
(¹富山大院・医薬学研究部・応用薬
理、²富山大・和漢医薬研・病態生化)

15:50 マウスインフルエンザ経気道感染モ
(C-17) デル
59 ○森田正行、大戸貴代、鈴木 享、
久場敬司、今井由美子
(秋田大院・医・情報制御・実験治
療)

16:04 Histamine-H₃R-deficiency
(A-18) increased the sensitivity of
18 morphine-induced hyperactivity
but unaffected the rewarding
response in mice
○張 冬頤^{1,2}、吉川雄朗¹、長沼史登¹、
中村正帆¹、岡村信行¹、加藤正人²、
谷内一彦¹
(¹東北大院・医・機能薬理、²東北大
院・医・麻酔科学・周術期医学)

16:04 一次知覚神経節細胞における硫化
(B-17) 水素の作用
39 ○宮本 亮、乙黒兼一、伊藤茂男
(北海道大院・獣医・薬理)

16:04 RAW264.7細胞における竜胆瀉肝湯
(C-18) のLPS誘導性NO産生の抑制効果と
60 その分子メカニズムの解析
○青木幸一¹、菅野秀一²、石川正明²、
吉田雅昭³、大泉 康^{4,5,6}、山國 徹¹
(¹東北大院・薬、²東北薬科大、³小
太郎漢方製薬、⁴横浜薬科大、⁵東北大
院・工、⁶静岡県大院・薬)

16:18 内標準法によるヒスタミンと1-メチ
(A-19) ルヒスタミンの同時測定
19 ○長沼史登、井筒敏恵、張 冬頤、
中村正帆、原田龍一、吉川雄朗、岡
村信行、谷内一彦
(東北大院・医・機能薬理)

16:18 末梢神経障害性の痛み治療薬がNa⁺
(B-18) チャンネルに与える効果
40 一 副 腎 髄 質 細胞 対 する
veratridine刺激での検討—
○水間謙三¹、近藤ゆき子¹、入江康
至¹、平 英一¹、大畑光彦²、鈴木健
二²
(¹岩手医大・医・薬理、²岩手医大・
医・麻酔科学)

16:18 Impaired c-fos induction by emetin
(C-19) in granulocytes from
61 myelodysplastic syndrome patients
○馮 曉敏¹、色摩弥生¹、野地秀義²、
七島 勉²、小川一英²、木村純子¹
(¹福島医大・医・薬理、²福島医大・
医・循環器・血液内科)

休憩 (16:32~16:45)

A会場：小ホール

座長：松本真知子

北海道医療大・薬・病態生理

16:45~17:27

B会場：204号室

座長：乙黒 賢一

北海道大院・獣医・薬理

16:45~17:13

C会場：206号室

座長：大橋 敦子

北海道医療大・薬・臨床薬理毒理

16:45~17:13

16:45 Memantine 誘 発 性 prepulse
(A-20) inhibition障害における中枢ドパミ
20 ン・セロトニン受容体の関与
○中谷孝太¹、中川西修¹、荒井裕一
朗²、小野木弘志¹、佐藤 敦¹、新島
富紀枝¹、丹野孝一¹、只野 武¹
(¹東北薬科大・薬理、²東京有明医療
大・保健医療・柔道整復学科)

16:45 α₁サブユニットのチロシンリン酸化
(B-19) によるNa,K-ATPase活性の制御
41 Waleed El-Beialy、○出山義昭、
Nadia Galal、吉村善隆、鈴木邦明
(北海道大院・歯・細胞分子薬理)

16:45 シスプラチン投与によるラット回腸
(C-20) での遅延性5-HT代謝亢進機序の検
62 討
○紙谷章基久¹、平野めぐみ¹、小原佑
介¹、町田拓自¹、浜上尚也²、飯塚健
治¹、平藤雅彦¹
(¹北海道医療大・薬・薬理、²北海道
医療大・薬・分子生命科学)

16:59 アンジオテンシンII脊髄クモ膜下腔
(A-21) 内投与によるERKの活性化を介した
21 疼痛関連行動
○鈴木義紀¹、丹野孝一¹、中川西修¹、
新島富紀枝¹、菅野秀一²、蓬田 伸²、
石川正明²、只野 武¹
(¹東北薬科大・薬理、²東北薬科大・
薬物治療)

16:59 Na⁺/Ca²⁺ 交 換 輸 送 体 阻 害 薬
(B-20) SEA0400のラット腎内持続投与に
42 による腎保護効果
○谷田部緑^{1,2}、谷田部淳一²、渡辺
毅²、木村純子¹
(¹福島医大・医・薬理、²福島医大・
医・腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝
内科)

16:59 非アルコール性脂肪性肝炎の発症・
(C-21) 進展におけるプロスタグランジンI₂
63 の役割解明
○桑井志麻^{1,2}、結城幸一¹、柏木 仁¹、
小島史章¹、奥村利勝²、牛首文隆¹
(¹旭川医大・医・薬理、²旭川医大・
医・総合診療部)

17:13 L-DOPAは様々なニコチン禁断症状
(A-22) を緩和する
22 ○大村 優^{1,2}、Emily M.
Jutkiewicz²、Edward F. Domino²、
吉岡充弘¹
(¹北海道大院・医・神経薬理、²ミシ
ガン大学・医・薬理)

閉会の辞（17:30）A会場

懇親会（サッポロビール園）18:30～